

つばさっ子ボランティア

中条小学校の強みは、地域やボランティアの皆様、保護者の皆様が子どもたちの教育を支えてくださることです。朝や帰りの見守りを通して安心して学校に通えること、温かい気持ちになれる学校掲示などを整えていただけること、楽しい本を読み聞かせてもらえること、学習のサポートをしていただけることなど、すべてが子どもたちの教育の礎となっています。日頃より様々な学習活動や行事等にご協力をいただき、本当にありがとうございます。今年度もよろしくお願ひします。

(ボランティア担当 横山 卓也)



サツマイモの苗植えの様子
(学習ボランティア)

6月の予定

- 3日(月) 朝の読み聞かせ(上学年)
つばさっ子体験隊Ⅰ(4年2組) カヌー体験
後援会地域代表者会
- 4日(火) 2年生校外学習(産業文化会館方面)
スクールカウンセラー
- 5日(水) 諸校費引落日
- 6日(木) 1年生校外学習(北公園)
- 7日(金) 4年生出前授業(広域クリーンセンター)
- 10日(月) 朝の読み聞かせ(下学年)
つばさっ子体験隊Ⅰ(4年1組) カヌー体験
あいさつの日(5年)
- 11日(火) 委員会③
2年生校外学習(中条駅方面)
- 12日(水) 中条つばさ会
- 17日(月) 朝の読み聞かせ(上学年)
- 18日(火) クラブ②
- 20日(木) 4年2組校外学習(浄水場)
- 21日(金) 4年1組校外学習(浄水場)
- 24日(月) 読み聞かせ(下学年)
- 25日(火) つばさっ子体験隊Ⅲ①(6年生)
～佐渡1日目～
- 26日(水) つばさっ子体験隊Ⅲ②(6年生)
～佐渡2日目～
1年生学年行事
(ミニ運動会、給食試食会)
- 28日(金) 全校朝会



運動会団結式での団長同士の握手

回覧

中条小学校だより



つばさ

発行日：令和6年5月29日

胎内市立中条小学校
在校児童：423名
第2号



中条小HP
QRコード

鳥坂山に 湧く雲の

校長 松原 利弘

5月15日に5年生が、学校田で田植えをしました。鳥坂山から櫛形山に続く櫛形山脈が見事に映える晴天の中、子どもたちは歓声をあげながら、苗を植えていました。校舎の中では体験できない、よい活動になったと思います。

また、翌16日には、運動会に向けての全校練習を行いました。この日も、櫛形山脈が映える晴天の中での活動でした。規律ある行動、相手に応答する返事など、とてもよい姿が見られました。

東かけて 揺るぎなく

歴史の中に なお生きる

鳥坂山に 湧く雲の

力漲る 学び舎だ



全校練習の一コマ

中条小学校の校歌は、1番から3番にかけて、胎内市の自然や産業の豊かさが歌詞に盛り込まれています。多くの卒業生がこの校歌を歌い継いできましたし、在校生も様々な機会に歌っています。5月25日の運動会でも、元気いっぱい校歌を歌いました。

校歌がどのようにできたのか、を少し調べてみました。学校の歴史を綴った「沿革史」には、「昭和39年11月21日 校歌制定式挙行 学区並びにPTAの寄付により経費支出4万円」という記載があります。校歌制定は、昭和39年11月21日であったことが分かります。作詞は、高田延喜氏、作曲は田才栄一氏です。高田氏は、旧制村上中学校で教鞭をとられていた方です。田才氏は、新潟市の中学校の校長先生をお勤めになった方です。「豊かな地で、中条小学校が永きにわたり栄えんことを…」との、両氏の思いが込められていると、想像しています。

5年生の田植えも全校での運動会の練習も、豊かな自然を背景にした、活力あふれる子どもの姿を見ることができました。素晴らしい情景であった、と思っています。

自分が生まれ育った地への思い、中条小学校の子どもたちでいえば、「胎内市はいいな」という素直な感情は大切だと考えています。このような感情を含めた、豊かな情操が礎にあり、その上に学校で学ぶ知識や技能などが築かれていくのだと思います。中条小学校は、すべての学年で、地元中条や胎内市を学びます。この中で、様々なことを知ると同時に、「胎内市はいいな」という思いを大きく膨らませることを願っています。



支援学級

令和6年度の支援学級は、児童数52人、全8クラスでスタートしました。保護者の方と相談しながらお子さん一人一人に合わせた支援計画・指導計画を作成し、指導方法を工夫しながら学級経営を行っています。学習上または生活上の「苦手」を軽減させることをねらった自立活動や、「わかった」「できた」と実感しながら個々の進度に合わせて取り組めるように教科学習や自立活動、生活単元学習に取り組んでいます。また、保護者の方同士が繋がりをもつ場になることを願い、保護者全体会を設けて、小学校卒業後の就学についての情報提供などを行っています。

中条小学校の特別支援学級では、胎内市で導入された「ばすのーと」を活用しています。小児発達に関わる医療や胎内市の福祉サービス等のネットワークと繋がることで、必要な支援が届けられ、より確かな成長が促されるように期待しています。

お子さんの健やかな成長にとって大切なのは、お子さんに合わせた学びの場を提供すること。「支援学級で学んでよかった」と実感してもらえるように、私たち担任8名と介助員11名のスタッフで、力を合わせて取り組んでいきます。(支援学級主任 埴田 陽子)

ことばの教室

ことばの教室は、胎内市のすべての小学校の通常の学級に在籍する児童を対象とした通級指導教室です。

- ・特定の音がうまく発音できなかったり、発音が不明瞭だったりするお子さん。
- ・話すときに、繰り返したり、音を伸ばしたり、なかなか声が出てこなかったりする吃音のお子さん。

などが主に対象となります。ことばの教室での学習は、一対一で行い、児童の現在の状況やがんばっていることをしっかりと認め、褒めて指導を進めます。遊びも取り入れて、児童が意欲的に通級できるように工夫しています。

うまく話せないので話さない、うまく読めないで勉強をやりたくないなど、心の問題や学習の問題にならないよう、早めの相談をお勧めします。ことばの面から精一杯サポートさせていただきます。(ことばの教室担当 梅田 昌子)

サポートルーム

サポートルームは、普段は自分の学級で学習しながら、週数回程度通う通級指導教室です。教室で落ち着きがない、友達とうまくかかわれない、学習が身につかないなど、個別の支援を必要としている子に対して、個々に目標を決め対人関係やコミュニケーションスキルを高める訓練、「読む」「書く」「計算する」など学習を助ける指導を行っています。対象は通常の学級に在籍するお子さんです。心配なことがあればいつでもご相談ください。

(サポートルーム担当 須貝 雅浩)

音や視覚的な刺激の少ない環境で集中して学習ができます。

